

## 第2章 計画の基本的な考え方

### 1 基本理念

#### 「健康長寿のまち」実現に向けた「歯と口の健康づくり」

本市では、「市民が、できる限り、健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた『自宅ですつと』、自分らしく暮らすことができるまち(健康長寿のまち)」の実現に向け、様々な取り組みを行っています。

歯と口の健康が全身の健康にどのような影響を与えるのか、科学的根拠を以て示されつつある現在、市民一人ひとりが子どもの頃から歯と口の健康に関する正しい知識を身につけ、生涯にわたって、歯と口を健康な状態に保つことが、「健康で人生を楽しむ」ことに繋がると考え、理念を定めました。

### 2 スローガン

いつでも だれでも どんなときも

歯と口の健康づくりに取り組み

美味しく 楽しく 安全に 口から食べることができるまち しずおか

「歯と口の健康」から目指す「健康長寿」は、単に「全身が健康である状態」ではなく、「QOL(生活の質)の維持ができている状態」を想定しています。

いつでも(乳幼児期から高齢期まで)、だれでも(障がい等があっても)、どんなときも(平常時に限らず災害時においても)、歯科医療や歯科保健サービスを受けることができ、歯と口の健康づくりに取り組むことができること、そして、自身の歯と口を大切にすることで、高齢になっても「口から食べたい」という希望を持ち続け、食を楽しめる、そんな「健康長寿のまち」=「美味しく楽しく安全に口から食べることができるまち」を目指せるようにとの思いを込め、スローガンを掲げました。

(SDGs<sup>※1</sup>との関係について)

SDGs未来都市<sup>※2</sup>及びSDGsハブ都市<sup>※3</sup>として選定された本市は、世界水準の都市「世界に輝く静岡」の実現を目指します。市が推進している第3次静岡市総合計画・5大構想の目指す安心感と満足感のビジョンと、SDGsの目指す2030年の地球の姿の方向性は非常に親和性が高く、第3次静岡市総合計画・5大構想が目指す「世界に輝く静岡」を実現するため、5大構想にSDGsを組み込む作業を進めています。組み込みにあたっては、「5大構想」の中で市民生活に最も身近な「健康長寿のまち」の推進にSDGsの視点を取り入れ、それを指標で進捗管理するための作業に取り組んでいます。SDGsという「世界共通のものさし」を活用することで、現在の置かれている状況を世界的な視点で的確に把握し、目標に向かう工程を明確にした上で、効率的かつ効果的な施策の立案が可能となります。本計画では、「ゴール3 すべての人に健康と福祉を」の趣旨に基づき、取り組みを推進します。

図4 SDGsポスター(17のアイコン日本語版)



ロゴ:国連広報センター作成

※1 SDGs(エス・ディ・ジーズ)とは…

2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」に定められた国際目標です。持続可能な世界を実現するため、先進国を含む国際社会全体の開発目標として、2030年を期限とする包括的な17の目標(ゴール)と169のターゲットを設定し、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、総合的に取り組むものです。

※2 SDGs未来都市とは…

SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるものです。静岡市は、平成30年6月15日に選定されました。

※3 SDGsハブ都市とは…

SDGsを先進的に進めるモデル都市として国連が認定しているものです。静岡市は平成30年7月にアジア初のSDGsハブ都市として認定されました。

### 3 基本方針

基本理念を実現するための基本方針を次のとおり定めます。

- 1 乳幼児期から高齢期までの歯科疾患の特性に応じた取組
- 2 障がい児・者、要介護者、妊産婦など特別な配慮が必要な人に対する取組
- 3 災害時における健康被害の予防及び歯科保健医療提供体制の整備
- 4 持続可能な歯と口の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化
- 5 科学的根拠に基づいた歯科保健施策の展開

図5 基本方針間の関係



#### 「いつまでも自分の口から食べられる」ように…

しぞおかの厳選食材を使ったお弁当で基本方針1～5の関係を示してみました。お弁当の中心は主食であるごはん(基本方針1)とし、その上に、タンパク質やビタミン、ミネラルが豊富なおかず(基本方針2・3)をのせ、それをお弁当箱(基本方針4)が支えています。さらにお弁当を食べるために必要なツールであるお箸を(基本方針5)としました。

4 施策の体系

